

決勝へ県勢4人

少年・成年男子5000円

下村、柏崎、村崎、小笠原

スピード

第59回「活彩はやて国体

10thは4日目の31日、スピードスケート、アイスホッケー、フィギュア、ショートトラックの4競技に白熱した戦いを展開。スピードスケートでは、少年男子五千円の下村将嘉(八商)ら男子長距離勢4人がそろって決勝に進出。フィギュア少年女子の川守田絢子(聖



【少年男子5000円予選】責任先頭を完了し、2位で予選通過した下村将嘉(八商)



ウ高)は落ち着いた演技で23位と順位を上げた。少年男子の下村は、中盤に責任先頭を完了すると余力を残して2位でゴール。柏崎藤太(八商)は、ゴール前のホームストレートで責任先頭を完了して1位で通過した。成年男子五千円の村崎高夫(東洋大)は早々と責任先頭を完了すると4人でトップ集団を形成、ゴール前の競り合いで3位に入った。小笠原裕太(専修大)も決勝に勝ち上がった。三沢市の三沢アイスアリーナで行われたフィギュア少年女子フリーでは、川守田がジャンプでミスをしたものの得意のスピンを中心に持てる力を発揮し、24位から23位と、一つ順位を上げた。アイスホッケーは八戸市の新井田インドアリンク、南部山アイスアリーナなどで行われ、成年が準決勝で優勝候補の北海道と対戦。少年は宮城との5・6位決定戦に臨む。